

多  
可

# 多可ひらきタイムズ

2015.7.1  
平成27年 31号

発行:多可町教育委員会

〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20  
TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142  
E-mail : kodomo@town.taka.lg.jp



表紙写真 キッズランドやちよ(5歳児 春の遠足)

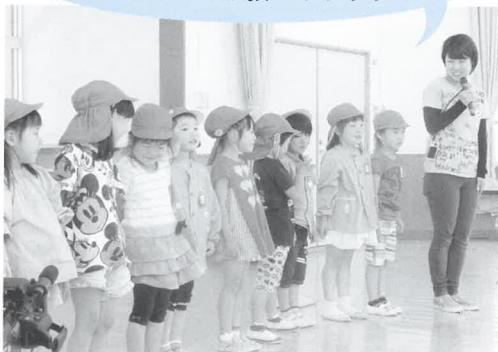
## おもな内容

- ・中区5歳児交流会
- ・ぴっくあっぷ学校園

# 中区 5歳児交流会



みなさん、なかよくしてください。  
よろしくお願ひします。



内容は交流遊びや英語で遊ぼう、  
遊具を使つた自由遊びなど。こど  
もはもちろんのこと、職員も情報  
交換をすることで、  
幼稚教育の質の向  
上に繋げたいと考えています。

触れあい遊びの後はALTのレ  
イチエル先生と一緒に遊びました。  
この活動の中ではレイチエル先生  
の英語での自己紹介を聞いたり、  
英語のスライドを見たり、英語の  
歌に合わせて体を動かしたりしま  
した。「バナナ」「オレンジ」「チエ  
リー」など、絵カードを見ながら  
英語を言う子どもたち。英語の発  
音はなかなかのものでした。こう



平成27年4月から認定こども園となつた中区のみどりこども園、あさかこども園、四恩こども園の3園。教育委員会ではこれまでから定期的に行つてきた園訪問、情報交換会、園所長会を通しての情報共有に加え、今年度から中区内の5歳児交流会を実施しています。

この5歳児交流会は、旧中町幼稚園を利用して、年間7回実施します。同じ小学校へ進学する子どもたちの交流を図ることで、幼児教育から小学校教育への移行をスムーズにすることがねらいです。活動

は定期的に開催され、園長会を通じての情報共有に加え、今年度から中区内の5歳児（計67名）が旧中町幼稚園に来園。午前9時30分から11時30分まで友達との交流を楽しみました。

交流会では、最初にそれぞれの園の先生が自園の紹介をしました。

先生が園について話しかけると、「知つとる」「その近くの神社、行つたことある」と子どもたちが話をする姿が見られました。それ

ぞの園の先生達から話を聞くことで多くの子どもたちが他園に興味をもつた様子でした。

Hello!  
My name is Rachel♪



園紹介の後は、みんなで体操をしたり仲間集めゲームをしたりしました。初めは少し緊張した様子でしたが、一緒に活動する中で緊張がほぐれていつたようで、新しい友達と笑みを交わしたり話をしたりする姿が徐々に見られるようになりました。

触れあい遊びの後はALTのレイチエル先生と一緒に遊びました。この活動の中ではレイチエル先生の英語での自己紹介を聞いたり、英語のスライドを見たり、英語の歌に合わせて体を動かしたりしました。「バナナ」「オレンジ」「チエリーリー」など、絵カードを見ながら英語を言う子どもたち。英語の発音はなかなかのものでした。こう

いった英語の遊びを通して、子どもたちは外国に興味をもつこともできたようでした。英語で遊ぼうの時間の後は、戸外に出て好きな遊びを楽しみました。ちびっこ丸や飛行機、ブランコ、鉄棒などの固定遊具で遊ぶ子、砂場で穴を掘つたり水を流したりして遊ぶ子、フラフープや一輪車、ボール遊びなどを楽しむ子、広い運動場で自転車に乗つて遊ぶ子、ビオトープで魚やウシガエルを見る子など、様々な姿が見られました。それぞれの園に帰るときに、「楽しかった」「またね」と言い、手を振りました。2時間という短い時間でしたが十分に楽しむことができたようでした。

木曜日に行いました。この日は、みどりこども園、あさかこども園、四恩こども園、森のようちえん多可こころねから、5歳児（計67名）が旧中町幼稚園に来園。午前9時30分から11時30分まで友達との交流を楽しみました。

もたちは外国に興味をもつこともできたようでした。英語で遊ぼうの時間の後は、戸外に出て好きな遊びを楽しみました。ちびっこ丸や飛行機、ブランコ、鉄棒などの固定遊具で遊ぶ子、砂場で穴を掘つたり水を流したりして遊ぶ子、フラフープや一輪車、ボール遊びなどを楽しむ子、広い運動場で自転車に乗つて遊ぶ子、ビオトープで魚やウシガエルを見る子など、様々な姿が見られました。それぞれの園に帰るときに、「楽しかった」「またね」と言い、手を振りました。2時間という短い時間でしたが十分に楽しむことができたようでした。



# 中区5歳児交流会の感想を聞きました



## みどりこども園

普段、なかなかふれることのない英語を教わることができ、興味をもつて参加できました。園に帰つてから教えてもらった英語を使って遊ぶ姿や、家人に「りんごは英語でなんと言うでしょう?」とクイズを出して楽しんでいる姿が見られました。広くて、遊具や自然がたくさんある環境の中で遊ばせてもらい、「もつと遊びたい」「また、したいな」という感想をもつた子どもたちばかりです。次回も参加することを楽しみにしています。

## あさかこども園

外遊びがとても楽しかったようです。旧中町幼稚園の環境は素晴らしい、子どもたちは好きな遊びを思う存分楽しむことができました。やりたいことを思う存分できることは、遊びの意欲・発展にもつながっていますが、そういう経験を重ね、自ら様々な場面でどうすればよいか考えられる子に育つことはとても大切だと感じました。子どもたちも「すごく楽しかった。また行きたい」と感想を言つていました。

## 森のようちえん こころね

交流会に参加させていただきことになつてから、ドキドキと楽しみにしていました。「こころね」では5人という少人数で普段は過ごしていますので、交流会当日、たくさんの友達や先生に緊張!!でも、少しづつ緊張もほぐれ、笑顔も見られるようになりました。帰り道では「次は友達達と一緒に生き物探ししたいな」と、次の交流会を楽しみにしている様子が見られました。



## 四恩こども園

旧中町幼稚園に着くと園舎や遊具を見て子どもたちは大喜び。他園の子どもたちのいる場に入ると一気に緊張していましたが、その緊張もダンスやゲームをしているうちに解けていき、「英語で遊ぼう」の活動にも楽しく参加することができました。戸外では、たくさんの遊具での遊び遊ぶ子どもたちの姿が見られました。園に帰つてからも砂場で水路を作つたり鉄棒に挑戦したりする子どもたちの姿が見られました。子どもたちにとっていい刺激になりました。

旧中町幼稚園に着くと園舎や遊具

## 幼稚園教育研修事業

幼稚園では、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼稚園を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。このことを踏まえ、多可町では、平成27年4月からスタートした私立の3こども園の保育の充実、及び幼稚園教育の質の向上を図ることを目的として、私立の3こども園の職員を研修に派遣する「幼稚園教育研修事業」を昨年度に引き続き町として助成金を交付し、実施しています。

昨年度は、町内の両キッズランドや中町幼稚園、近隣の幼稚園やこども園等で研修を実施しましたが、今年度は幼稚園やこども園だけでなく、中区にある両小学校での研修も実施しています。

(第1回目は、5月18日～20日の3日間実施。第2回目は、10月26日～28日実施予定)

こども園の職員が小学校の授業参観(参加)や校内研修に参加することにより相互理解を深め、こども園から小学校への接続が円滑に行われるようすることを目的と

# ぶ学校園



ちびっこランドらぐえんは、平成22年4月、社会福祉法人楽久園会の事業所内保育所として開園し、平成27年4月から小規模保育事業として新たにスタートしました。

現在、0歳から3歳までの子どもたちが一緒に過ごしています。地域に密着し、地域の皆さんとともに歩んで行き、子育てを支援する施設として運営し、大家族のように霧囲気の中、子どもたちの命と将来を預かっていることを共通認識に、一人ひとりの子どもしつかり向き合い、子どもを真ん中にお家の方との信頼関係も大切にしています。

高齢者施設と併設しているのも特色で、異世代間の触れ合いも積極的に行っています。少しの時間でも交流すると、笑顔の花が満開です。

子どもたちのパワーは最高です。そして、子どもたちの心にも優しくて温かい気持ちがいっぱいあります。

あそびを大切に

人とのふれあいを

多様な体験活動を

基本的な生活習慣を身につける



## お誕生会

「おじいちゃんおばあちゃんおめでとう」の声にとてもうれしいです。握手やタッチをすると更に表情がほころび、見ていても、温か気持ちになります。おじいちゃん、おばあちゃんはいつも交流を楽しみにして下さっています。

## ちびっこランドらぐえん

## 四恩こども園5歳児保育の取り組み

## 四恩こども園



### 目標を持ち取り組む5歳児

毎週体操教室で指導を受けています。今は、跳び箱、鉄棒、マット運動をしています。「できるようになりたい」と目標を持ち頑張っています。また、5月の参観日に親子で作った竹馬の成果を運動会で見てもらおうと一生懸命な子どもたちです。

今日は、この目標を達成するため、先生の役割をしている5歳児の活動を紹介します。

四恩こども園ではモンテッソーリの教育理念をもとに0～2歳児、3～5歳児の縦割り保育を行っています。教室内では「小さい子が大きい子の活動を見て学ぶ、一人でやってみて学ぶ、大きい子は小さい子に教えて学ぶ」という姿が幾度となく見られます。

今回は、こども園の中で小さな先生の役割をしている5歳児の活動を紹介します。

### 社会生活に必要な習慣や態度を身に付ける

5歳児は外部に出掛ける機会を増やし、その場その場にあった態度やマナーを知り、行動できるように伝えています。また、集会では「友達の前で話をし、その話をしつかり聞いて、質問や意見を言う」という活動も行っています。

### 主体的に活動する5歳児

平成27年度の入園式では5歳児が新入児を迎えるペー・プサートを披露しました。これは保育教育が発案したのではなく、日々の遊びの中で始まつたペー・プサート作り



で考え、作り、入園式で披露するところまでに至りました。

四恩こども園では、これからもこのような子どもたちからの発信や自分たちで考え工夫することを大切にし、子どもたちの援助をしていきます。



あさかこども園になりました

4月から認定こども園「あさかこども園」になり、幼稚園部・保育園部の子どもたちが共に過ごしていきます。

あさかこども園では、『継承・発展・感動』の理念のもと、【自立する子・健康な子・情操豊かな子】に育つよう、一つ一つの経験を大切にしながら、子どもたちと楽しい日々を過ごしています。

今年度から5歳児が増え、集団での5歳児保育がスタートしました。今まで少人数で築いてきた5歳児保育の基盤を基に、さらに、昨年度、多可町主催幼稚園教育研修事業で学んだ集団ならではの活動（クラス活動）や就学前に必要な活動（机や椅子を使つた活動）を取り入れながら、日々取り組んでいます。

そんな中、朝、外掃除をしていると、「先生、手伝つたげよ!!」と声を掛けてくれる子どもたちの姿がありました。赤ちゃんの時から保育園にいた子どもたちは、自分より大きなお兄ちゃん、お姉ちゃんたちの姿をよく見てきたのでしょう。5歳児になった今、今度は自分たちが!!と外掃除や花

壇の水やりなどを進んで手伝つてくれています。



園舎が  
新しくなつたよ！

今年の4月から、これまでの「みどり保育所」は、幼保連携型認定こども園「みどりこども園」となりました。園舎も場所を変えて新築し、広くなりました。特徴は、橿円形の園舎で、子どもたちの遊んでいる様子がどこからでもよく見えます。屋上には芝生があるの

ようにしていきたいと考えています。友達同士、またクラスの集団の中で、いろいろな遊びを経験しながら、自分が好きなこと、得意なことをどんどん伸ばしてあげたい、失敗してもやつてみよう、頑張ってみようとする意欲を応援してあげたいと思います。そして、心身ともにたくましく、優しい心思いやりのある子どもに育つてほしいと願っています。

で、思う存分走って遊ぶことがで  
きます。現在は、芝生が十分育つ  
ていいのでまだ遊べていません  
が、今年の梅雨を過ぎると遠慮な  
く屋上で遊べるようになるので子  
どもたちも楽しみに待っています。  
また、絵本コーナーには、中2階  
があり、子どもたちにとつては、  
秘密基地のような場所となっています。  
子ども園は、幼稚園部・保  
育園部があり、3・4・5歳児は  
年齢ごとのクラスで一緒に生活し  
ていますが、保育所の時と違つて  
幼稚園部分の時間帯があるので、  
生活時間の流れが変わつた面があ  
ります。そのことで、子どもたち  
が不安を感じないように配慮しな  
がら、これまで行つてきた保育に  
昨年の幼稚園研修で学んできたこ  
とを取り入れて、3・4・5歳の  
保育・教育が充実したものになる



# 八千代中学校

## 中学校の一大行事修学旅行

5月28日から30日までの3日間、3年生は修学旅行に行つてきました。天候にも恵まれ、62人全員が良い思い出を作ることができました。



いよいよ東京横浜の活動スタート！



東京ディズニーランドにて

### 1日目

新幹線の旅を経て、初日の行き先は東京ディズニーランド。かぶり物を購入したり、アトラクションを楽しんだりと夢の国を満喫しました。



3日目の様子

### 3日目

最終日は三浦半島に行きました。ここでは「釣り」「カヤック」「水族館」の3つのコースからそれが自らの興味関心にあつたものを事前に選んで体験しました。



2日目の様子

都内の班別自主研修。各班で行き先と交通手段を事前に調べ、東京の街を散策しました。慣れない道中ではありましたが、全員が無事、横浜のホテルに到着することができました。

### 2日目

き先と交通手段を事前に調べ、東京の街を散策しました。慣れない道中ではありましたが、全員が無事、横浜のホテルに到着することができます。

# 加美中学校

## 1年生 野外活動（ハチ高原）

五月十五日  
から十七日の

三日間、加美

中学校一年生

はハチ高原へ

野外活動に行つ

てきました。



直前に台風が接近していたというのもあり天候が心配されましたが、特に問題もなく活動に取り組むことができました。今回の野外活動でのスローガンは「一体感」。四月から松井小学校と杉原谷小学校の二つの小学校から集まつた一年生、まだ仲間同士の理解は深まっている段階にはいっていないでよう。そんな彼らにとって、様々な取り組みを仲間とともにを行うことは有意義なものになつたはずです。一日目加美中学校を出発し、ハチ高原に着くと早速登山に向かいました。バス移動の疲れも感じさせず、飛び跳ねるように山を登つて行きました。下山してからは飯盒炊飯。登山を頑張ったその日の夕食。美味しく作つて食べたいと、皆で協力してカレーを作り上げました。そのカレーを互いの班で交

換し味見しながら、美味しいね、上手だねと称えあつてゐるのが印象的でした。二日目、集団行動や大縄大会でクラスの結束を高めました。自分の意見を発表し相手の意見にしっかりと耳を傾けている彼らがそこにいました。その後、各々がデザインした焼き板クラフトをとてもユニークに作り上げ、夜のキャンドルサービスへ。儀式として厳粛な雰囲気で行われました。スタンツはすべての班が劇に挑戦し、白雪姫やシンデレラをアレンジを加えながら見事に演じてくれました。三日目はフィールドワークでハチ高原の自然を満喫しました。スラングはすべての班が劇に挑戦し、白雪姫やシンデレラをアレンジを加えながら見事に演じてくれました。三日目はフィールドワークでハチ高原の自然を満喫しました。スラングはすべての班が劇に挑戦し、白雪姫やシンデレラをアレンジを加えながら見事に演じてくれました。三日目はフィールド

ワークでハチ高原の自然を満喫しました。スラングはすべての班が劇に挑戦し、白雪姫やシンデレラをアレンジを加えながら見事に演じてくれました。三日目はフィールドワークでハチ高原の自然を満喫しました。スラングはすべての班が劇に挑戦し、白雪姫やシンデレラをアレンジを加えながら見事に演じてくれました。三日目はフィールド

ワークでハチ高原の自然を満喫しました。スラングはすべての班が劇に挑戦し、白雪姫やシンデレラをアレンジを加えながら見事に演じてくれました。三日目はフィールドワークでハチ高原の自然を満喫しました。スラングはすべての班が劇に挑戦し、白雪姫やシンデレラをアレンジを加えながら見事に演じてくれました。三日目はフィールド



これらの経験はこれから三年間の中学校生活の基礎となることでしょう。



\*トライやる・  
ウイークに向けて\*

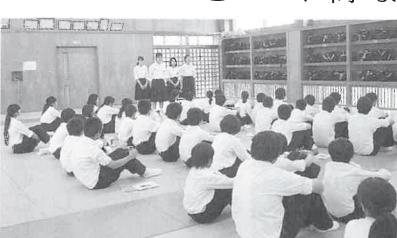
○マナー講習会。

六月一日から始まるトライやる・ウイークに向けて、中町中学校ではマナー講習会が開かれました。外部から講師をお招きし、社会に出たときに必要とされる礼儀や正しいあいさつの方法などを学びました。積極的にメモを取るなど、トライやる・ウイークへの意欲を感じられました。今回の講習会を通して、トライやる・ウイークの意味をしっかりとと考え、遊びではなく学びにいくという姿勢が見られるようになりました。



○アポ取り

マナー講習会での学習を生かし、お世話になる事業所に自分たちで事前訪問のお願いをしました。一生懸命に敬語の練習をする姿がありました。そして、電話が終わる度に「緊張した」と笑顔がこぼれていました。



○出発式

トライやる・ウイークに向けて四十一事業所による決意表明が行われました。百数名の前でそれぞれの目標をしっかりと発表し、トライやる・ウイークへの意気込みを高め合いました。五日間ベストをつくしてがんばつてくれることと思います。

○事前訪問

アポ取りの後はいよいよ事前訪問。出発の時間が近づくにつれて徐々に真剣な表情に変わり、すべての班が無事に事前訪問を終わらせることができました。教師に頼らず自分たちの力で事前訪問を成し遂げようとする姿に、彼らの成長を感じました。



ふれあい草引き  
～地域の皆様との  
ふれあいを通じて～

本校の清掃指導の目標は、「やりましょう しっかりとそうじ あとかたづけ」です。自分たちの学校を自分たちで美しくしていくことをねらいとしています。

そして、学校を美しくする活動の一環として、「ふれあい草引き」があります。

「ふれあい草引き」

は、地域の方に大変お世話になつてゐる活動です。子どもたちの掃除時間に来校いただき、一緒に校庭の草引きをしていただきます。年間六回の「ふれあい草引き」の日を設定しています。



毎回、子どもたちと一緒に校庭の草引きをし、美しくしてくださる地域のボランティアの方がたくさん集まってきてくださいます。道具の使い方を学んだり、しっかりと掃除をすることや後片付けをしたりすることなどを学びます。草引きをしながら、地域の方に「がんばっているね」「上手になつたね」と励ましの言葉をかけていたりすることで、さらにはりきつて草引きをがんばる子もいます。

「ふれあい草引き」の時間の後の校庭は、すつきりと気持ちのよい校庭になつています。心の中まで澄みきつていくようです。活動を通して顔なじみになり、普段出会つても気軽に話せる子もいます。

お忙しい中、子どもたちのためには、「ふれあい草引き」に参加してくださいとする地域の皆様、ほんとうにありがとうございます。今後とも西小学校の環境整備のためよろしくお願いいたします。



子どもたちは、地域の方々とふれあい、交流しながら、草引き道

# 八千代北小学校

## 八千代北ささゆり班活動を通じて

本校では児童の心身の健やかな

成長のために、1年生から6年生

までの全児童を縦割りで6つの班

に分けたささゆり班活動を行つて

います。この活動は、高学年はリーダー性や思いやりを、低学年は学

校生活の基本やルールを身につけていくことを目的としています。

集会や掃除、田植え・稲刈りなど、

学校生活や行事などの様々な場面

で班活動を行つていきます。また、

毎週木曜日の2校時と3校時の間

の休み時間には、「ささゆり遊び」

ささゆり班での今年最初の行事

は、5月1日の全校生なかよし遠

足でした。この日が班のメンバー

の顔合わせで、遠

足出発前に児童会

の進行のもと、自

己紹介や人間知恵

の輪などのゲーム

を和気あいあいと

した雰囲気の中で

行いました。その後ネイチャーパー

クまでの遠足に出かけ、じゃんけ

んゲームなどのレクリエーション

をしました。お弁当も班毎に食べ



ました。楽しいひとときを過ごし、ささゆり班活動がスタートしました。

5月25日には、あおぞら給食と題してにこにこ広場で給食を行いました。各教室で準備した給食を持ち寄り、班毎に集まつて給食を食べました。とてもきれいな青空の下、おいしくいただきました。



6月2日には、地域の指導ボランティアの皆様のお世話になり田植えを行いました。最初に指導者の方から「田植え」のしかたについて説明していただき、班

のしかたについて説明していただき、班毎に1年と6年、2年と5年、3年と4年を基本とするグループに分かれて、上級

の進行のもと、自分たちがしっかりと取り組んで最後にふさわしい学年になると一生懸命頑張っています。

それに引っ張られるよう他学年

組合までの最後の一年間、一人

一人の笑顔がさらに輝く八千代北小をめざします！



ささゆり班での今年最初の行事

は、5月1日の全校生なかよし遠

足でした。この日が班のメンバー

の顔合わせで、遠

足出発前に児童会

の進行のもと、自

己紹介や人間知恵

の輪などのゲーム

を和気あいあいと

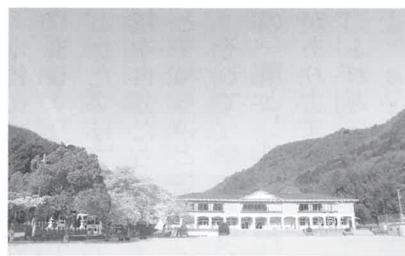
した雰囲気の中で

行いました。その後ネイチャーパー

クまでの遠足に出かけ、じゃんけ

んゲームなどのレクリエーション

をしました。お弁当も班毎に食べ



## ありがとうございました 八千代南小学校

★小学校統合までのカウントダウンが始まりました

平成二十八年四月の八千代区三小学校統合まで、一年を切りました。

今年の本校の学校教育目標のサブテーマに「ありがとうございます、八千代南小学校」といれ、閉校となる本

校に『ありがとうございます』の感謝を込め

1年間生活していくこうと児童にも話をしていました。特に、最後の卒業

生となる6年生は、自分たちがしつかりと取り組んで最後にふさわしい学年になると一生懸命頑張っています。

児童一人一人が好きな本、ためになる本を読んで百冊を目指しています。昨年度は、全校で一一七名が百冊を達成しました。

児童一人一人が好きな本、ためになる本を読んで百冊を目指しています。今年もすでに一・三年生で十一名、四年生で二名百冊を達成し、一年生で一名二百冊を達成しています。家庭の協力も得て、一人でも多く百冊達成できるよう取り組んでいきたいと思います。

うことが決りました。

実行委員会やPTAの会議でどう

しますので、記念式への多くの方

のご来校をお待ちいたします。ま

た、閉校記念行事の一つとして航

空写真撮影を考えています。地域

の皆様の協力を得て、人文書をつ

くろうと計画していますので決定

しましたらご協力をお願いします。

## ★目指せ百冊読書マラソン

今年度も本校では読書活動を充実させようと『目指せ百冊読書マラソン』を全校で取り組んでいます。昨年度は、全校で一一七名が百冊を達成しました。

児童一人一人が好きな本、ためになる本を読んで百冊を目指していきます。今年もすでに一・三年生で十一名、四年生で二名百冊を達成しています。家庭の協力も得て、一人でも多く百冊達成できるよう取り組んでいきたいと思います。



また、八千代南小学校閉校記念事業実行委員会を開催し、閉校記念式を平成二十八年二月六日に行

# 八千代南小学校



# びっくあつ

「がんばれ！」  
薰風に乗り、子どもたちの歓声が聞こえます。5メートル走に挑戦する友だちを応援する声です。

初夏の風物詩『体力・運動能力テスト』は、児童の体力づくりの成果や課題を確かめるのに大いに役立ちます。また、この結果を基に、1年間の体力づくりの計画も決定されます。

さて、本校の体力づくりがどのように進められているのか、取組の一部を紹介しましょう。

## 〈体育科ノートの活用〉

児童一人ひとりの「体力の実態や伸び」が見えるように『体育ノート』を作成し、体育の授業を中心に活用しています。このノートは、2年間継続して使用することで運動能力の変化や成長の跡を確かめられるようにし、児童に意欲を持たせる工夫をしています。

様々な取組の根底にあるのは、「スポーツの楽しさや喜びを味わせたい」という思いです。楽しみながら課題克服を図る。これが、長く体力づくりを続ける秘訣でしょう。芝生の運動場を利用したニュー スポーツを取り入れ、杉小独自の体力づくりをめざします。

## 健やかな体の育成

### —体力・運動能力の向上をめざした取組—

ト運動も実施しています。児童の主張的な取組を進めるために『がんばりカード』を活用し、体育の時間はもちろのこと、休憩時間を利用した体力づくりも推進しています。

松井小学校では、子どもたちの「ことばの力」の向上をめざした取り組みを進めています。そのうちの二つをご紹介します。

校庭の遊具を利用したサー・キットの実施



## 〈スポーツ大会の開催〉

体育委員会主催のスポーツ大会を年に2回行っています。計画から運営まですべてを児童が担当します。昨年は『ドッジボール大会』と『サッカー大会』を開き、運動への関心向上に寄与してくれました。

体育委員会主催のスポーツ大会を年に2回行っています。計画から運営まですべてを児童が担当します。昨年は『ドッジボール大会』と『サッカー大会』を開き、運動への関心向上に寄与してくれました。

松井つ子タイム（朝の学習）の中で、「美しい日本語やことば」に対する感性を高め、ことばを大切に正しく理解することと、様々なよい文章を繰り返し音読することで、語いの獲得と表現技法の習得をねらって取り組んでいます。

普段は学級ごとに取り組んでいますが、今年度最初の全校朝会のとき、二年生以上の全児童で萩原朔太郎の『竹』を音読しました。大きな声が体育館に響き渡り、その心地よさを味わいました。音読後には対比的に静寂が広がり、みんなで余韻に浸りました。

他にも、様々な読書活動を進める取り組みや書く力を伸ばすための日記・作文、考えを正確に上手に伝え・捉えるための話し方・聞き方の指導などにも取り組んでいます。

松井小学校では、子どもたちの「ことばの力」の向上をめざした取り組みを進めています。朝の会・終わりの会など学級の中だけのスピーチだけでなく、毎日、一斉下校の際に、その中の最上級学年がスピーチをしています。全校生や高学年の中校時

## 「ことばの力」の向上をめざして

松井小学校では、子どもたちの「ことばの力」の向上をめざした取り組みを進めています。そのうちの二つをご紹介します。

### 〈音読〉

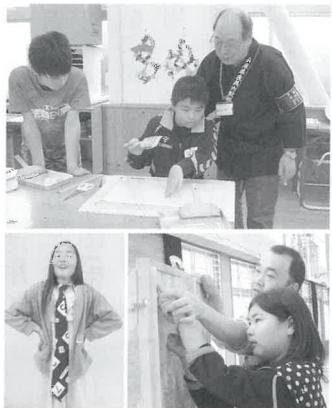
松井つ子タイム（朝の学習）の中で、「美しい日本語やことば」に対する感性を高め、ことばを大切に正しく理解することと、様々なよい文章を繰り返し音読することで、語いの獲得と表現技法の習得をねらって取り組んでいます。

松井つ子タイム（朝の学習）の中で、「美しい日本語やことば」に対する感性を高め、ことばを大切に正しく理解することと、様々なよい文章を繰り返し音読することで、語いの獲得と表現技法の習得をねらって取り組んでいます。



## 体験を通じて身につけること

本校では様々な体験の機会をとらえて子どもたちに少しでも豊かな体験をしてもらおうと心がけています。日々の机上の勉強だけでは気がつかないことを、体験を通じて実感してもらえるからです。また、学ぶことの意味も体験を通じて明らかになるからです。



### 【6年生ものづくり体験】5月12日

兵庫県職業能力開発協会の主催する、「ものづくり体験教室」に参加しました。県下各地から「ものづくりの匠」の方々に本校へお越しいただき、4つの

グループに分かれて、匠の技を実演いたしました。紳士服はネクタイを、婦人服はハーフパンツを、表装はミニ屏風を、壁装は小物入れを、コツを教えていただきました。その後、紳士服はネクタイを、婦人服はハーフパンツを、表装はミニ屏

### 【1・2年生植物を植える】5月19日

2年生は自分たちで決めた色んな夏野菜の苗を、学校園に植えました。



1年生はサツマイモの苗や朝顔の種を植えました。



2年生は自分たちで決めた色んな夏野菜の苗を、学校園に植えました。どちらもおいしい野菜がなるといいなあ、きれいな花が咲くといいなあと願いながら頑張つて世話をしています。

最初は、西脇警察のおまわりさんより、交通安全についてのお話を聞きました。安全の話はもとより、クイズ形式での話に、子どもたちも一生懸命聞いていました。

特に、兵庫県での交通事故発生件数が三万件以上あることを聞いて、子どもたちは、予想以上に多かつたことに大変驚いていました。



### 【5年生自然学校へ】6月15～19日

そしていよいよ、5年生は間もなく自然学校に旅立ちます。学校を離れ、親元を離れ、友だちと一緒に過ごす5日間。

ちょうどその時、3・4年生は、給食センターから講師に来ていただき、食育として、エンドウ豆の豆むきを体験しました。ものすごくたくさんのエンド

豆をサヤから出してボールに入れました。3・4年生が頑張ってくれたおかげでみんなほんとうにもおいしい豆ご飯を給食で食べることができました。感謝♪

### 【3・4年生豆むき体験】5月12日

6年生がものづくりに励んでいたちょうどその時、3・4年生は、給食センターから講師に来ていただき、食育として、エンドウ豆の豆むきを体験しました。ものすごくたくさんのエンド

## 交通ルールを身につけよう！

五月二十二日（金）、安全に気をつけた歩き方や自転車の正しい乗り方を学び、交通ルールを身につけさせる、交通安全教室を実施しました。

次に、一年生は、安全に気をつけた歩き方を実際に体験する歩行訓練をしました。運動場の中では本物の車が通らないので、少し緊張感にかけるところもありました。が、二人組で信号機をしつかり見て歩いていました。

また、四年生は、自転車の正しい乗り方を教わり、校外に出て体験をしました。普段は何げなく乗っている自転車も、正しい乗り方の「左右確認」や「後方確認」をするには、大変苦労しているようでした。



その後、おわりさんが本物の白バイに乗つて、グランンドを走つたり、長さ約二十メートルある一本橋を

十秒以上かけて渡つたりして、くださいました。本物の白バイのデモンストレーションに子どもたちは見入っていました。

本校では、昨年度交通事故が数件ありました。命は、たつた一つしかありません。今回の教室で学んだことを生かして、事故を起さない態度をしつかり育ててほしいと願っています。



# びっくあつ

## キッズランドやまゆり

子どもたちは、自分の好きな遊びを見つけ、そこで気の合う仲間と好きな遊びをします。クラスの枠を越えて、様々な環境や友達、保育者とかかわりながら、主体性や五感を育てる保育です



なにを流そうかな

お水いっぱい!

キッズランドやまゆりの園庭は、広い砂場と、そこから坂を下つて樹木がたくさんある林の中、林から小川の向こう側へ渡ると芝生広場が広がっています。

この広い園庭で、好きな遊びを存分に楽しんでいます。保育者は、クラスに関係なく、担当するエリアに遊びに来た子どもたちを見守っています。

## エリア遊び保育

**〈砂場での遊び〉**  
山水を流し、桶を組み合わせて水路遊びをしたり、川や池を掘つたりすることを楽しんでいます。

### 〈林の中での遊び〉

樹の枝に綱をくくりつけ、ターザンのように揺れる遊び。初めは綱に飛びつくことが恐くてできなかつた子も、友達の楽しんでいる姿に刺激を受けて、できるようになりました。

### 〈芝生広場での遊び〉

虫探しをしたり、ユスラウメを探つて食べたりして、自然の中で遊ぶことを満喫しています。



赤い実はどれかな

この自然豊かな園庭で、五感をを使って遊ぶ経験がたくさんできるようにと願っています。

## キッズランドかみ

どんな色のタケコブターができるのかな?



保護者会（ひまわり会）を中心  
に、今年度は、エコバック作り、  
輪投げ、職員のコーナーとして、  
作つて遊ぼう（竹とんぼ作り）、  
おはなしでてこい（おむすびころ  
りん）、喫茶コーナーをしました。



今年で5回目となつたひまわり祭り。ひまわり祭りは、地域や親子でふれあう機会として行っています。

## 〈ひまわり祭り〉

お隣の親子とも自然と会話がはずんでいました☆



多可レンジャーの登場で子どもたちの  
テンションも一気に上昇!!

家族で相談しながらエコバッ  
クを作成したり、普段は見せな  
いような子どもたちの表情や親  
子の笑顔がたくさん見られたり、  
心がほっこりする場面もみられ  
ました。

役員のみなさん、ご協力あり  
がとうございました。



## 「カブキッズたか」教室生募集

多可町の伝統文化「播州歌舞伎」の美しい演技やせりふにふれて、礼儀・作法を身につけてみませんか？「カブキッズたか」

少しでも興味がある人はぜひ一度のぞいて見てください。

では、発表の場で化粧をしたり、派手な衣装を着けたりして「かぶき」を演じることができます。教えてくれるのは、播州歌舞伎クラブで実際に活動をしているお姉さんたちです。また、登場シーンや各場面を盛り上げるために太鼓や小太鼓、拍子木（カンカン）という楽器も使えます。

「カブキッズたか」募集に際し、各小学校を回り、PR活動を開きました。また、中央公民館播州歌舞伎クラブの練習もスタートしました。

対象	町内の小学生
練習日時	金曜日
練習場所	午後6時～7時半 多可町中央公民館
参加費	無料
申込先	こども未来課 電話 (32) 23385



松井小学校でのPRの様子



八千代南小学校でのPRの様子

※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【問い合わせ先】多可町教育委員会こども未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail:kodomo@town.taka.lg.jp